

「BLoC」は関東近郊のクライミングジムによるボルダリングのシリーズ戦で、昨年引き続き 2 回目の開催となります。

本年は 2010 年 9 月～2011 年 1 月までの期間に全 6 戦が開催され、1 戦毎の順位や完登数で得られるポイントのうち上位 4 戦の成績がシリーズ戦の有効ポイントとして加算されるシステムです。また、カテゴリーも「レギュラー男子」「レギュラー女子」のほか「エントリー」を追加して誰もが楽しめるシリーズ戦となりました。

## ●レギュラー男子

大事な第 1 戦【ロッククラフト川越】の予選で素晴らしいスタートを切ったのが昨シーズン 10 位の宮原駿 (T-WALL) で、全完登を決めトップ通過となりました。しかしながら決勝では流れを掴めず、第二課題を唯一完登した湯澤秀行 (ロストキャニオン) が逆転で 1 位を決めました。さすが昨シーズンチャンピオンの実力は圧巻でした。2 位には BLoC のムードメーカー橘菌伸 (ライノ&バード)、3 位にはホームの小峰直城 (ロッククラフト川越) が入りました。宮原はアテンプト差で 4 位に沈みました。そしてミスターBLoC 菅谷良太郎も 6 位と健在をアピールしています。

次の第 2 戦【ウォールストリート熊谷】では、第 1 戦の鬱憤を晴らすかのように宮原が僅差で競り勝ち初の 1 位を獲得しました。2 位には実力通り湯澤が確実に入ってきました。3 位には大塚和彦 (ZERO) となり、4 位には新星の杉卓洋 (ランナウト) が入り、ポイント圏内ギリギリの 6 位で小峰が滑り込む展開となりました。

前半戦最後の第 3 戦【ロッキー品川】。予選では湯澤と阿部雅史 (船橋ロッキー) が全完登し 1 位タイ。決勝ではホームの阿部が全完登で 1 位を決めました。そして、アテンプト差で 2 位になったのが日本選手権で優勝した島谷尚季 (船橋ロッキー) でした。湯澤は最終課題が登れず 3 位に後退となりました。4 位には橘菌と大井将生 (千城台高校) がタイでわけました。またホームの菅谷も 6 位をキープして、ロッキー勢の強さが光りました。



第 3 戦【ロッキー品川】 クライマー：菅谷 良太郎

折り返しの第 4 戦【ロストキャニオン】では、本命不在で予選から大混戦となりました。決勝では第一課題が完登できず出遅れた小峰ですが、第三課題を唯一完登し大逆転で初の 1 位を獲得しました。2 位にはホームの森田裕也 (ロストキャニオン) が入り、3 位には橘菌が予選のカウントバックにより滑り込みました。そして菅谷が 5 位、大井が 6 位と着実にポイントを獲得しています。

シーズン終盤の第 5 戦【エナジー高田馬場】では、初出場の橘菌修二 (J&S 中野) と橘菌伸が予選を 1 位と 2 位で突破したことで兄弟対決にも注目されました。その決勝では完登者がなかなか出ない展開の中、最終課題でついに宮原が 5 撃完登に成功、そして橘菌修二も安定した登りで 3 撃完登をしました。



第5戦【エナジー高田馬場】  
クライマー:小峰 直城

この最終戦の結果、湯澤は有効ポイントを増やすことができず第5戦終了時と変わらず341p。対する宮原は1位を決め128pを追加し394pとなり、大逆転でシリーズ総合優勝を獲得しました。3位には1位1回を含め6位以上のポイント圏内を4回獲得した小峰が入りました。

### ●レギュラー女子

昨シーズンチャンピオンの簾内由希 (B'nuts/PUMP1) が出場を見合わせた第1戦【ロッククラフト川越】は波乱の幕開けとなりました。並み居る有力者を抑え、昨シーズン11位の坂井絢音 (ロッククラフト川越) がホームジムアドバンテージなのか予選全完登を達成しました。決勝でも坂井の快進撃は止まらず、3課題を全て1撃で完登し初の1位を獲得しました。2位にはパフォーマンスで会場を盛り上げた渡部咲樹が入り、3位には昨シーズン4位の細野かおり (ZERO) となりました。そして4位に実力者の増澤明子 (スポーレ)、5位に昨シーズン2位の佐藤奈津子 (B-PUMP2) が入る展開となりました。

結果、橘菌修二が兄弟対決も制し1位を獲得しました。2位には久々出場の宮原。3位にはボーナスの差で湯澤。そして杉が4位、大井が5位となり、橘菌伸は残念ながら7位と順位を下げてしまいました。さらに大事件がここで起こりました。ミスターBLoCこと菅谷が昨シーズンより継続してきた「決勝の出場記録 (連続9回)」がここで途絶えてしまいました。本当に残念です。ここまででのシリーズでは、1位湯澤が341pに対し2位宮原が266pで75pの差がついており、ほぼ総合優勝は湯澤が手中にしている状況でした。

迎えた最終第6戦【ライノ&バード】。予選はキレイレの大井が全完登で強さを発揮し1位通過を決めました。決勝では第二課題で小峰と半田悠太 (ライノ&バード) の2名が1撃し一歩リード。そして最終課題は完登者がなかなか出ない展開でしたが、これを吹き飛ばしてくれたのが宮原でした。この日一番の大歓声の中、唯一の完登を決め1位も獲得しました。2位にはホームの半田。初の表彰台3位には千本木洋介 (ロストキャニオン)。4位に小峰が入り予選トップの大井が6位となりました。そしてシリーズを決める湯澤の順位は5位となりました。



第6戦【ライノ&バード】  
クライマー:大井 将生

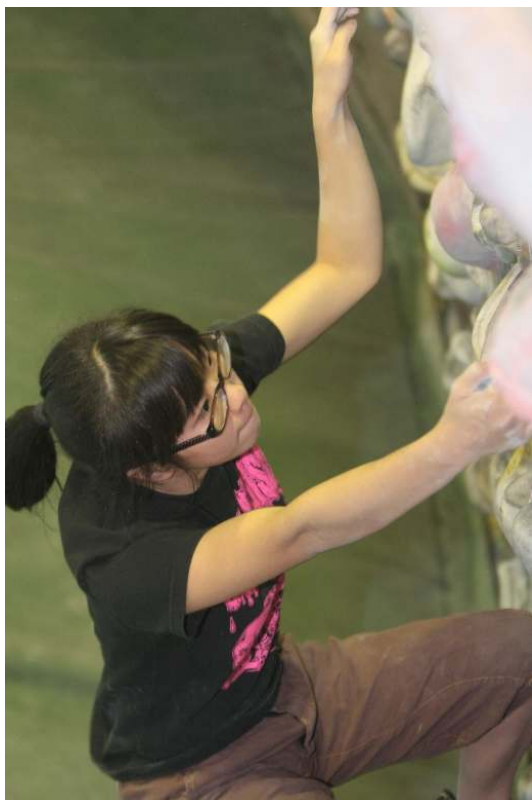
続く第2戦【ウォールストリート熊谷】では実力者が揃ったハイレベルな戦いでした。これを制し1位となったのが決勝を全完登した縄重未来 (Activ-A) です。ちなみに今シーズンのポスターモデルにもなっていました。2位には簾内、3位には細野の実力者が並びます。そして渡部が4位、坂井が6位に滑り込みました。

中盤となった第3戦【ロッキー品川】はさらに白熱した戦いが繰り広げられました。予選では飯田あづみ (船橋ロッキー)、細野、簾内の3名が1位タイとなり決勝戦へ。三つ巴の決勝戦は続きましたが、最終課題を唯一飯田が完登して見事1位を決めました。2位には決着がつかないまま細野と簾内がわけ合いました。そして増澤が5位となり、坂井は12位で決勝進出を逃しました。

最北の地での第4戦【ロストキャニオン】では、今シリーズ最少人数の開催となったことから誰もが上位を狙える展開となりました。そんな中、予選も決勝も1ランク上の実力で、嬉しい初めての1位を勝ち取ったのが細野でした。2位には名古屋から参加していただいた戸根木麻衣 (aim) が入り、3位には初参加の小川弥生 (PUMP2) となりました。4位には増澤が順位をキープしております。この結果、シリーズでは1位が逆転



第2戦【ウォールストリート熊谷】  
クライマー：細野 かおり



第4戦【ロストキャニオン】  
クライマー：中田 茉那

し細野が337pでトップ。2位が坂井の172pで165pもの大差がつき、総合優勝は細野で決定と思われました。

そんな総合優勝をかけた第5戦【エナジー高田馬場】。予選は難易度が高かったのか4完登6ボーナスまでの6人が決勝進出となりました。そして決勝では、第一課題では4人が完登する中で細野は登れず一步後退。しかし第二、第三課題を1撃で完登し追い上げます。ただ、今回の課題は坂井に向いていたようです。決勝3課題を全て1撃で完登し、見事復活の1位を獲得しました。これでシリーズ2勝目です。2位にはアテンプト差で野中生萌 (PUMP2) が入り、3位は予選のカウントバックで細野となりました。そして増澤が4位、渡部が5位と続きました。この1位で坂井はポイントを121p増やし293p。一方の細野は3位でしたが有効ポイントとはならず前戦同様の337pで、その差が44pに急接近し総合優勝の争いが混沌としてきました。

そして大事な最終第6戦【ライノ&バード】を迎えます。ここにきて参加者が19名と最大規模となり実力者も揃ったワクワクするコンペになりました。当然、決勝進出のハードルも高くなったわけですが、なんとここで細野が1ポ

ボーナス足りず7位タイとなっていました。そのため、総合優勝争いは坂井の順位で決定することになりました。そんな中、決勝で素晴らしい登りを見せてくれたのが簾内でした。誰も登れなかった第二、第三課題を含め3課題全てを1撃で完登し1位を獲得、昨シーズンチャンピオンの貫禄を見せてくれました。3位には予選決勝と同成績で増澤と縄重がタイとなりました。そして、注目の坂井は第一課題の1撃が功を奏し2位に食い込みました。

この最終戦の結果、細野は有効ポイントが増えず第4戦終了時と変わらず337p。対する坂井は2位となり85pを加算して368pとなり、男子同様大逆転でシリーズ総合優勝を獲得しました。3位には最終戦で実力を発揮した簾内が入りました。

## ●エントリー

初めての開催となる第1戦【ロッククラフト川越】では、ホームの高田淳志（ロッククラフト川越）が予選6位からの大逆転で1位を決めました。2位には向山陽（ライノ&バード）、3位には菅谷吉史（飛鳥）となりました。

そして第2戦【ウォールストリート熊谷】では、山口柊（ZERO）と檜崎明智（ZERO）の若手ZEROペアが頑張り1位と2位になりました。3位は予選を全完登した渡邊海人（加須SCC）が、4位は小林由人（千城台高校）が入り、ここまで全て高校生以下の選手でした。

続く第3戦【ロッキー品川】は厳しい課題の対決になり、決勝の第1課題を完登した中で唯一第3課題のボーナスを保持した玉井勝城（ロッククラフト川越）が1位となりました。2位には谷川知幸（SPEEDY）と八木哲雄（ISARA）がわけ合いました。

第4戦【ロストキャニオン】の宇都宮決戦ではビックリする展開になりました。それは決勝に残った



第1戦【ロッククラフト川越】 クライマー：高田 淳志



サンタコスプレでボルダリング  
クライマー：渡部 咲樹

6名全てがZEROのメンバーでした。ZERO強し！そんな身内勝負を制したのが山口でシリーズ2勝目をマークしました。2位には角野英世、3位には檜崎が入りました。

シリーズ順位が気になる第5戦【エナジー高田馬場】には最多の44名が参加しました。ここで爆発したのが初参加となる小学6年生の辻風人（カランバ）でした。予選を全完登でトップ通過し、決勝も2課題を1撃し見事1位を決めました。2位には田口大（エナジー高田馬場）、3

位には鈴木雄一（エナジー）が続き、シリーズが気になる檜崎は4位、2連勝中の山口が6位に沈みました。

ここまででのシリーズでは、山口が2勝して293pでトップ。対する檜崎がコツコツポイントを重ね213pの2位という状況で、総合優勝は山口が本命です。迎えた最終第6戦【ライノ&バード】ですが、檜崎が出場キャンセルしたことで総合優勝は自動的に山口に決まりました。そんな中、予選はレベルが高く9完登以上の8名で決勝が繰り広げられました。第一課題では多くの選手がフォールする中、初戦以来の決勝となる高田と2戦以来の小林が1撃で完登しました。第2課題は登りやすかったようで5名が完登し第3課題へ。ここで力を残していた？山口柊（ZERO）が1撃で唯一完登を決め会場も大いに盛り上がりました。結果は僅差で3位が高田、2位が山口、1位が小林となりました。

この最終戦の結果、総合優勝は揺ぎなく山口が獲得しました。ただし2位争いでは今回3位となった高田が68pを加え234pに伸ばし、檜崎を逆転しました。



クールな BLoC ヘアスタイル

クライマー：大和田 晶彦

### ●キッズ【ロッククラフト川越】

シリーズとは異なり独立したカテゴリーで小学生の対決です。優勝は決勝3課題目を唯一完登した本間大晴（PUMP1）がゲットしました。2位には加藤悠生（ロッククラフト川越）、3位には武藤颯汰（ロッククラフト川越）のホームの2選手が入りました。将来はBLoCのシリーズ戦に参加してネ！



第1戦【ロッククラフト川越】キッズ入賞者

### ●ビギナー【ロッキー品川】

こちらもシリーズとは異なり独立したカテゴリーでクライミング初心者の対決です。優勝は予選全完登で決勝3課題も全て1撃した押久保孝浩（ZERO）でした。また2位には清水夏子（船橋ロッキー）、3位には菊沢絢（LKCC）のほか、4位大庭美帆子（SPEEDY）、5位小野寺光（B-PUMP）、6位倉橋亜由美（ロッククラフト川越）と女性が上位となったコンペでした。

BLoC 2011 の総参加者は 559 人を数え、コンペの規模としては非常に大きくなったと感じております。そして BLoC の趣旨である「ボルダリング競技の底上げ」と「クライマー間の親交」も担うことができたとも思っております。

参加していただいた選手の皆様、ご協賛を賜りましたメーカーの皆様、スタッフ・関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

そして、来る 2011 シーズンも BLoC を開催いたしますので、再び皆様にお会いできることを楽しみにしております！

(文=樋山 徳彦 ・ 写真=藤枝 隆介)

## ■ 各カテゴリー優勝者コメント ■

### ●レギュラー男子

#### 優勝者 宮原 駿 (T-WALL)

去年はなかなか決勝に残れず悔しい思いをしたのでとても嬉しいです。BLoC の関係者の方々には感謝しています。

これからも努力し国体への出場や岩場で成果をだせるように頑張ります。

第1戦	：	4位	・	60p
第2戦	：	1位	・	125p
第3戦	：	—		
第4戦	：	—		
第5戦	：	2位	・	81p
第6戦	：	1位	・	128p
総合	：	優勝	・	394p

出場回数	：	4回
平均順位	：	2.0位
平均ポイント	：	98.5p



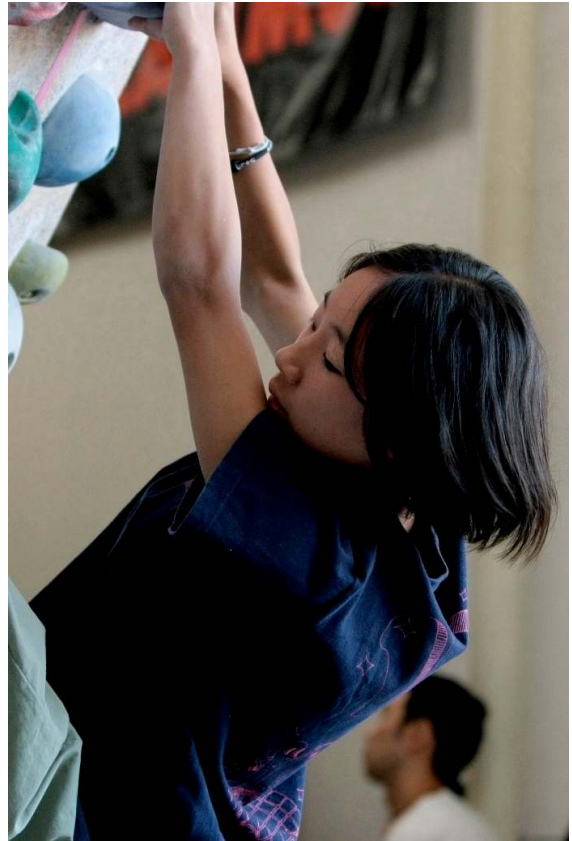
## ●レギュラー女子

**優勝者** 坂井 絢音 (ロッククラフト川越)

人一倍小柄な私が、ほとんどの決勝に残れ2回も1位になり総合優勝したことはビックリしています。運がよかったのかもしれませんが、すごく頑張ったんだなあと思っています。これからはオンサイトグレードを上げ、コンペでベストを尽くしたいです。

第1戦	:	1位	・	130 p
第2戦	:	6位	・	32 p
第3戦	:	12位	・	10 p
第4戦	:	—		
第5戦	:	1位	・	121 p
第6戦	:	2位	・	85 p
総合	:	優勝	・	368 p

出場回数	:	5回
平均順位	:	4.4位
平均ポイント	:	75.6 p



## ●エントリー

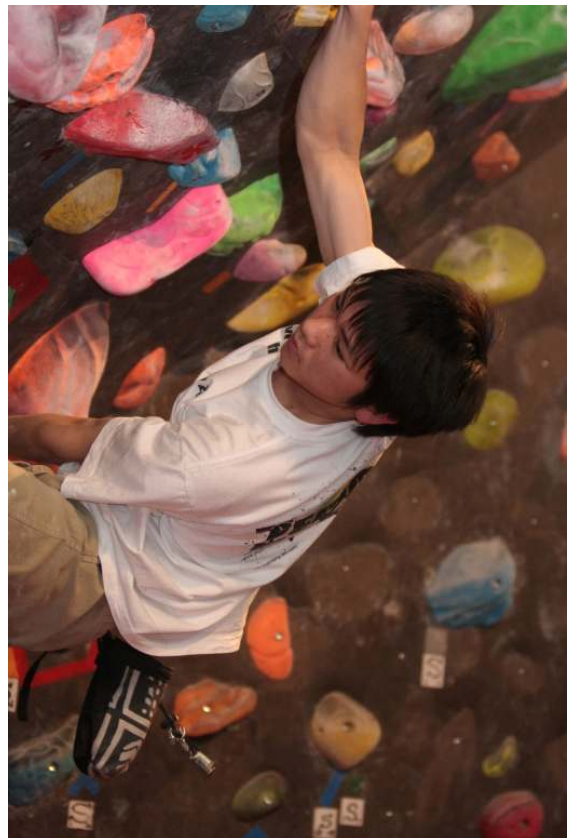
**優勝者** 山口 柊 (ZERO)

クライミングを始めて一年半、自分がどこまでできるか知りたくて参加したこの大会で優勝できてとてもうれしいです。

今年は一つ上のクラスにでても恥ずかしくないような成績を残せるように練習をしていきたいです。

第1戦	:	—		
第2戦	:	1位	・	128 p
第3戦	:	—		
第4戦	:	1位	・	130 p
第5戦	:	6位	・	35 p
第6戦	:	2位	・	87 p
総合	:	優勝	・	380 p

出場回数	:	4回
平均順位	:	2.5位
平均ポイント	:	95.0 p



## ■ 開催日時と会場

- 第1戦 ロッククラフト川越 2010年09月26日
- 第2戦 ウォールストリート熊谷 2010年10月24日
- 第3戦 ロッキー品川 2010年11月07日
- 第4戦 ロストキャニオン 2010年12月04日
- 第5戦 エナジー高田馬場 2010年12月19日
- 第6戦 ライノ&バード 2011年01月16日

## ■ 成績

### ● レギュラー男子

	氏名	ホームジム	ポイント	出場回数
優勝	官原 駿	T-WALL	394	4
2	湯澤 秀行	ロストキャニオン	341	5
3	小峰 直城	ロッククラフト川越	282	5
4	橘菌 伸	ライノ&バード	231	4
5	大井 将生	千城台高校	171	5
6	杉 卓洋	ランナウト	156	6

### ● レギュラー女子

	氏名	ホームジム	ポイント	出場回数
優勝	坂井 絢音	ロッククラフト川越	368	5
2	細野 かおり	ZERO	337	6
3	簾内 由希	B-nuts/PUMP1	293	3
4	増澤 明子	スポーレ	217	6
5	縄重 未来	Activ-A	191	2
6	渡部 咲樹		180	5

### ● エントリー

	氏名	ホームジム	ポイント	出場回数
優勝	山口 柊	ZERO	380	4
2	高田 淳志	ロッククラフト川越	234	4
3	檜崎 明智	ZERO	213	3
4	小林 由人	千城台高校	186	2
5	玉井 勝城	ロッククラフト川越	168	3
6	中田 茉那	ZERO	163	5